

ケムセックス

- 複数のパートナーと長期間にわたる性交渉中にコカイン、結晶メタンフェタミン、合成ドラッグ、GHB/GBL（ガンマブチロラクトン）、ケタミン、スピード、またはエクスタシー（MDMA）を使用することと定義されている¹。
- オランダでの調査の回答者368例において、HIVに感染している男性間性交渉者（MSM）の44%がケムセックスを報告した¹。
- 英国およびウェールズのクリニックを受診したMSMを対象に実施した調査より、HIVに感染している性的に活発なMSMの30%がケムセックスを行っていたことが明らかとなった²。
 - 危険な性行動、性感染症、自己申告によるうつ病と正の関連性が認められた。
- HIV感染と診断されてから4カ月超が経っており、LondonのHIVクリニック7施設を受診している成人570例を対象とした横断調査では、同性愛および両性愛男性の約40%が過去1年間にケムセックスを行っていた³。
 - HIVクリニック受診率と負の関連性が認められた。

1. Evers YJ, et al. *PLoS One*. 2020;15(7):30235467. 2. Pufall EL, et al. *HIV Medicine*. 2018;19(4):261-270.

3. Howarth AR, et al. *HIV Med*. 2021. Online ahead of print.